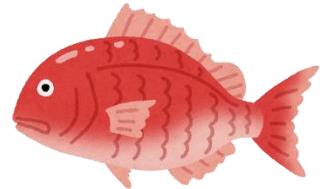




さかなの頭は左or右？



頭の中で考えてください。今、みんなの前に画用紙と鉛筆があります。

では、そこにさかなの絵を描いてください。鯛でもまぐろでもイワシでも構いません。

書けましたか？では、ここで質問です。その魚は、頭が左右のどちらを向いていますか。

こんなお話を今日の全校集会しました。ほとんどの人が左が頭、尾ひれが右の魚を書いたのではないでしょうか。

では、なぜ、左向きの魚を想像してしまう人が多いのかという理由には諸説あるようです。図鑑に載っている魚が左向きに描かれているから、料理の際、魚は左側を頭にして盛り付けるからなど色々な説がありますが、私たちの頭の中に、魚は左側を向いているという固定観念が馴染んでいるからではないでしょうか。固定観念（こていかんねん）は、固着観念（こちやくかんねん）ともいい、ある人が自らの心の中でこれはこうあるべきだという「主観」や「物事について抱いているイメージ」にとらわれており、考え方が凝り固まっている状態を言います。さらに状況が違っても考え方を変えず、他者の意見に耳を貸さない頑固な考え方やその意識のことを言います。このように、みんなにも何かを想像するとき、知らず知らずのうちに固定観念に縛られているという事がよくありませんか？自由に発想したつもりが、今までの感じ方や考え方には縛られていたり、普通はこうだろうという見えないルールに縛られていたりはしていないでしょうか。また、最近ではネットの情報を信じ切ってしまう傾向も多々あるように思います。例えばみんなのまわりにいる友達に対してはどうでしょうか。人間なので好き嫌いや性格が合わないなどはあって当然です。では、そういう人とみんなはどう接していますか。嫌いとか合わないといった固定観念のまま、その人のすべてを拒絶したり遠ざけたりしていませんか。それは、本当にもらいたいと思います。なぜかというとそういう嫌いな人や苦手な人が良い言動をしても受け入れることができなくなるからです。もしかするとその一言を受け入れることで、またその行動を真似することでみんなの成長につながるかもしれません。人の良いところを見つけるレンズを固定観念で曇らせてほしくないと校長先生は思います。

今回、顔が真正面の魚や右向きの魚、上からの見た魚を思い浮かべた人もいるかもしれません。その人たちは変わっているのでしょうか。校長先生は、とても素晴らしい感性だと思います。どうせなら人の良いところを見つけていきませんか。みんなならそうできると信じています。